

## 会 議 錄

令和元年度 第1回宮古島市総合教育会議	
日 時	令和元年10月28日(月) 10時00分 開会
場 所	平良庁舎3階会議室
出席構成員名	市長 下地敏彦 教育長 宮國 博 教育長職務代理者 野原 敏之 委員 中尾 忠篤 委員 池間 雅昭 委員 渡久山 ひろみ
欠席構成員名	一
オブザーバー	副市長 長濱政治 総務部 宮国高宣 福祉部長 下地律子 情報政策課長 下地貴之 教育部長 下地信男 生涯学習部長 下地明 教育部次長兼教育総務課長 下地美明 生涯学習部次長兼生涯学習振興課長 久貝喜一 教育施設班長 平良邦明 学校教育課長 垣花秀明 学校給食共同調理場長 上地等 教育総務課総務係長 與那覇斎
説明員	一
事務局員	企画調整課長 上地俊暢 企画調整課政策調整係長 愛澤直樹 企画調整課主任主事 藪野真教 企画調整課 野原寧々
欠席事務局員	

協議・報告事項	件名	結果
選任事項	議事録署名人の選任について	宮國教育長 野原委員
調整・協議事項	<p>(1) 協議事項</p> <p>ア 臨時職員、非常勤職員の待遇改善（人材の確保）について</p> <p>イ 学校体育館の改修について</p> <p>ウ 共同調理場の統合等について</p> <p>エ 医療ケアが必要な児童生徒への対応について</p> <p>オ 市民プールについて</p> <p>カ 宮古島市教育情報化推進計画について</p> <p>(2) 報告事項（宮古島市の教育課題について）</p> <p>ア 学力向上の推進について</p> <p>イ 子育て支援の充実と学校給食の充実強化について</p> <p>ウ 学校施設の整備と維持管理について</p> <p>エ 生涯学習の推進とスポーツ振興について</p> <p>オ 文化の振興と文化財の保存と保護活用について</p> <p>カ 学校規模適正化の推進について</p>	

備考	
----	--

## 会 議 錄

事務局 (企画調整課)	議事録署名人の選任を行います。教育長と野原敏之委員の2名に議事録署名人をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
教育長、野原委員	了解致しました。
事務局 (企画調整課)	それでは、本日の議事に入りたいと思います。本日は、会次第「4.議題」のとおり協議事項6項目、報告事項6項目計12項目となっております。 進行については、宮古島市総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定に基づき、市長が議長を務めることとなっておりますので、ここからの進行は市長にお願いいたします。
議長（市長）	それではこれから協議を進めて参ります。まず、はじめに臨時職員・非常勤職員の待遇改善について教育委員会から説明をお願いします。
教育部長	協議事項について説明いたします。 臨時職員、非常勤職員の待遇改善（人材の確保）について教育委員会では多くの臨時職員・非常勤職員を任用していますが、近年、必要とする人員確保が出来ず、業務に支障が生じております。その要因は、市の雇用賃金が民間と比べて安いことが挙げられます。今後、教育現場で働く人材の安定確保のために待遇改善が求められております。
議長（市長）	今の協議事項について、担当部長より回答させます。
総務部長	臨時職員・非常勤職員は次年度より会計年度任用職員制度へ移行される為、処遇改善が図られると考えております。会計年度任用職員に係る給与制度については、常勤職員との均衡を考慮するしきみとなっており、期末手当も支給予定であるので、教育委員会と連携しながら制度設計を図っていきたいと考えています。 市の賃金については、保育士、幼稚園教諭、福祉業務に係る賃金や報酬等について、人員確保が出来ないなどの理由から、賃金等の引き上げを行ってきております。そのような状況にあっても、要望するだけの人員確保が出来ていなければ、市全体の状況であります。 また、これまで賃金の引き上げにより、物件費の増加につながってきており、市の財政状況において少なからず影響を与えていていると考えております。 賃金引き上げについては、令和2年度からの会計年度任用職員制度への移行

	<p>によって、財政需要が増加することが見込まれることから、賃金の引き上げについては、その業務に必要な資格を有する者の賃金単価の妥当性、他の職種や他市町村の状況なども参考にしながら、慎重に対応していく必要があると考えております。</p>
議長（市長）	<p>回答は以上ですが、意見交換は全ての回答を終えてからにしたいので、引き続き協議を進めます。</p> <p>次に、学校体育館の改修について教育委員会より説明をお願いします。</p>
教育部長	<p>各学校の体育館の雨漏り修繕については、その特殊性から抜本的な改善に至らず、常態化している現状にあり、今後大規模修繕や改築による対応が求められています。雨漏りが生じると、体育の授業・部活動等に支障を来し、教育活動が充分に行われなくなりますので、委員会としては、特に屋根の部分を全面改修したいと考えております。</p>
議長（市長）	<p>今の協議事項について、担当部長より回答を致します。</p>
総務部長	<p>学校教育施設等の修繕については、予算編成時において、各施設個別の状況による予算要求に対しての予算措置を行っています。今回の全面改修での対応に係る要望において、全面改修をしなければならない状況となっている体育館は何校あり、築何年が経過しているのかなど、学校施設の状況、学校教育施設等の整備計画や、学校教育施設等長寿命化計画を策定し、対応する必要があると考えております。</p> <p>屋根の全面改修であれば、多額の費用を要することから、国庫補助事業など活用できる財源についても検討していく必要があると考えております。</p>
議長（市長）	<p>次に、共同調理場の統合等について、教育委員会よりお願いします。</p>
教育部長	<p>市内には5調理場があります。そのうち城辺は築36年、平良・上野は築18年、下地・伊良部は築15年が経過しています。城辺調理場を除く4調理場は経過年数が浅いものの設備の老朽化が進んでおり今後大規模な修繕が予想されることから予算の確保をお願いしたいと考えております。</p> <p>調理場の統廃合については、前年度に引き続き調理場基本計画内部検討委員会で今後の方針を検討していくことから今後人員や予算等が伴う業務については、協議して進めていきたいと考えております。</p> <p>城辺調理場が築36年経過しており老朽化しているとの事で調査を実施したのですが、まだ充分使えるとの事だったので、上野・下地・城辺の調理場を統合しようという計画は一旦保留となっております。将来は一ヵ所に統合した</p>

	いという希望を踏まえて、検討をお願いします。
議長（市長）	今の協議事項について、担当部長より回答を致します。
総務部長	<p>調理場の調理器具等の更新等については、予算要求において個別要求に対し予算措置をしてきております。大規模な修繕というのが、調理器具等の更新なのか、建物の修繕なのか、老朽化の進んでいる城辺調理場の長寿命化対策なのか、城辺調理場閉鎖に伴って、別の調理場の機能拡大を目指した大規模な改修なのかななど、具体的な要求であれば、どのような対策を講じるのかを明確にし、それぞれのコストなども考慮した上で、対応に係る事前協議を行う必要があると考えております。</p>
議長（市長）	<p>次に、医療ケアが必要な児童生徒への対応について教育委員会よりお願いします。</p>
教育部長	<p>医療的ケアが必要な児童生徒の就学先については、本人、保護者に対し十分な情報提供を行い、可能な限りその意向を尊重することが求められています。</p> <p>現在、宮古島市立小中学校においては、医療的ケア児は在籍していませんが、医療的ケア児1名が令和2年度に幼稚園入園予定です。医療的ケア児の教育にあたっては安全の確保が前提であることから、宮古島市立幼稚園、小学校、中学校において校舎等の改修や医療的ケアを行う看護師の確保などハード面、ソフト面からの支援が必要です。</p>
議長（市長）	今の協議事項について、担当部長より回答を致します。
総務部長	<p>現在、5名の看護師職(本採用職員)が任用されており、夜間救急センター、保育所等に配置を行っております。現時点で新たな採用枠については検討しておりませんが、現職員の人事異動による看護師の配置は可能であると思います。次年度から開始する会計年度任用職員の配置については、教育委員会と連携しながら対応してまいります。</p> <p>医療的ケアが必要な園児、児童生徒への対応については、教育委員会の方針として対応が必要であるということであれば、可能な限り、看護師の配置など、ハード・ソフト面での支援に係る費用等は対応していく必要があります。しかしながら、受け入れ体制として、複数名の園児や児童生徒がいる場合において、希望する学校全てでの対応ではなく、受け入れ可能な学校を限定するなど、体制づくりにあたって、財政面をも考慮した対応策を検討して頂きたいと思います。現状として、支援員の配置等で、全ての学校で支援が必要な園児、児童生徒の受け入れ体制となったことから、財政面においてかなりの負担が生じてい</p>

	することや、支援員の確保などでもかなり厳しい状況も踏まえて対応して頂きたいと考えております。
議長（市長）	続いて、市民プールについて教育委員会よりお願いします。
生涯学習部長	<p>宮古島市市民意識調査によれば、公共スポーツ施設に望むものとして、屋内プールと答えた人の割合が最も高いことから市民プール構想については、平成27年から話があります。</p> <p>宮古島市スポーツ推進計画の目標として「スポーツアイランドの推進（スポーツを活用した人材育成と交流促進を基本とした地域活性化の実現）」と「生涯スポーツの充実（市民それぞれが体力や年齢、目的に応じて気軽にスポーツに親しむことができる環境の実現）」を目指すこととしております。教育委員会としては、学校体育施設（プール）の今後の在り方も含め教育現場と話し合いを行うとともに市民プール構想の実現に向けた取組を展開したいと考えております。</p>
議長（市長）	今の協議事項について、担当部長より回答を致します。
総務部長	<p>市民プールを整備するのであれば、各学校所有のプールは廃止すべきではないかと財政課では考えております。公共施設等総合管理計画にはプールについて個別の記載はありませんが、各学校所有のプールの築年数、耐用年数、コスト等を示し、市民プールを整備し、各学校プールを廃止した時のコスト比較が必要だと考えております。その方針を示した上で整備すべきだと考えております。補助メニューを活用し、市債発行を抑えること、また、建設までに庁舎等建設基金を積み増し、財源確保ができている旨の説明及び、健全化判断比率の説明が必要となります。</p> <p>また、民間経営のプールもあるので民業圧迫になりかねないことも考えられます。料金設定等の検討も必要になると思われます。</p>
議長（市長）	次に、宮古島市教育情報化推進計画について教育委員会よりお願い致します。
教育部長	<p>これからの中学生達が生きていく社会は、AIやIoT等のICT活用が一層進展するなど、予測不可能な社会になることが予想されております。国においてはこれらの社会の変化を見据え、新学習指導要領にて学校のICT環境の整備を行い、教育の情報化をより推進することとされております。</p> <p>このことから昨年度に「宮古島市教育情報化推進計画」を策定し、学校におけるICT環境の整備及び活用等について計画に基づき事業を進めております。直近では、全校に電子黒板を整備するべく調達したところであり、今後は電子</p>

	<p>黒板の活用も含め、学習者用のパソコン整備、ICT支援員の配置等を予定しております。</p> <p>計画の進捗に遅れが生じると学校現場のICTを活用した指導や学習の遅れに繋がり、児童生徒に不利益をもたらしますので、確実な事業執行のためにも計画的な財政措置をお願いいたします。</p>
議長（市長）	今の協議事項について、担当部長より回答を致します。
総務部長	<p>「宮古島市教育情報化推進計画」においてPC、タブレット等のICT環境整備への取り組みについては、計画では令和2年度から現場への導入を進めていますが、ICT環境の整備については現在の中期財政計画には反映しておらず、今年度から策定に取り組んでいる「長期財政ビジョン」に反映させることとしております。</p> <p>市の財政状況において、令和3年度から普通交付税が一本算定となった時点での一般財源の状況等を確実に捕捉した上で、今後の財政需要に対応していく必要があります。また、歳出において、今年度整備が進んでいる小・中学校、幼稚園へのクーラー設置及び小・中学校の電子黒板の整備によって、光熱水費や後年度における更新費用等の維持管理経費等の物件費等の増も見込まれることから、市の財政状況に応じた計画的な予算措置を講じていく必要があります。</p> <p>普通交付税が一本算定となる令和3年度の予算編成や財政状況をみながら、令和4年度以降での整備に向けて検討してほしいと考えております。</p>
情報政策課長	<p>企画政策部長が欠席のため、代わりに回答させて頂きます。「宮古島市情報化推進計画」における教育委員会所管の「宮古島市公立小中学校教育用タブレット整備事業」で令和2年度よりタブレットを導入予定となっております。それに合わせて、当課所管「宮古島市公立小中学校校内無線LAN整備事業」において、平成31年度より構築、令和2年度より運用開始の計画となっております。</p> <p>タブレット導入が令和4年度以降に変更になれば、先述の各計画の見直しが必要となります。そのあたりにおいても、導入スケジュール、予算確保など財政課を含めた3者による協議を進め、確実な事業執行に努めたいと思っております。</p> <p>以上で、協議についての説明は終了致します。後ほど具体的な協議を行います。続いて、報告事項の説明を教育委員会からお願いします。</p>
議長（市長）	

教育部長 及び 生涯学習部長	ア. 学力向上の推進について イ. 子育て支援の充実と学校給食の充実強化について ウ. 学校施設の整備と維持管理について エ. 生涯学習の推進とスポーツ振興について オ. 文化の振興と文化財の保存と保護活用について カ. 学校規模適正化の推進について	※資料を読み上げて説明。
議長（市長）		それでは、これから協議事項及び報告事項について意見交換を行いたいと思います。教育長からなにかございましたらどうぞ。
教育長		まず協議事項について、これらは私と市長が具体的に話し合う必要のある6点です。そして教育課題については、解決のために取り組んだ成果の報告でございますので、市長からご質問があれば私の方で答えさせて頂きます。予算に関わる事については事務の方々と調整をするかと思いますが、協議事項について市長がどのようなお考えをお持ちなのか、意見を交わして方向性を見つけていけば、この総合教育会議が大変有意義なものになると思いますので、宜しくお願ひ致します。
議長（市長）		協議事項については、教育委員会がこれまでも課題としてあげてきたものであるな、という印象です。しかしこれらを一気に解決する事は難しいので、優先順位をつけながらやっていきたいと思います。
		ところで苦言を呈するようで申し訳ないが、教育委員会から財政課へ提出する資料は、もう少し細かく作成して頂きたい。大雑把な資料では査定が出来ず、議会でも説明が出来ないため、なぜこれが今必要なのか、何を根拠に必要としているのか詳しい資料を作成するよう、職員にも知らせて頂きたい。
		特に気になるのは、『協議事項カ. 宮古島市教育情報化推進計画について』に関する資料で、生徒全員にタブレットを購入してもらう負担、更新の手間等を考慮すると、政策としてどうなのかと言う事も具体的に考えて頂かないと、計画が現実的になってこない。
教育長		分かりました。
議長（市長）		城辺地区調理場の老朽化については大丈夫だという結果が出たのですね？
教育長		建物の強度については問題ないという結果が出ています。
議長（市長）		それならばそのあたりもまた考え方を整理してください。

教育長	分かりました。
議長（市長）	体育館の屋根がこれほど雨漏りする原因は何でしょうか。
中尾委員	これについては、形状や構造から考え直さなければならぬと思います。全般的に、体育館の屋根というとトタン張りかもしれないが、沖縄の気候に合った構造になるよう今後変えていかなければならぬと思います。
議長（市長）	どの体育館も旧市町村時代から建設され、35年ほど経過しているので、老朽化が進んでいますよね。
中尾委員	修繕するときにも、高さがあるためどうしても足場が必要になり、その都度検査するのに時間・費用がかかるので、根本的な事から変えなければ今後も同じ事を繰り返す事になります。
議長（市長）	これに関する事でも、どの学校の体育館がどのくらい雨漏りしているのか調査して、優先順位をつけてください。
教育長	優先順位につきましては、どの学校からどういう形で整備していくかと言う事を具体的に提示させて頂きますので、市長には予算のご配慮を是非ともお願いしたいです。
議長（市長）	医療ケアが必要な子供は、今のところ1名ですか。
学校教育課長	現在、鏡原地区に1名おり、4月から鏡原幼稚園に入園する予定です。この話が出始めた頃に比べると、成長と共に状況が良くなってきており、以前までリクライニングの車いすで横になり生活していたのが、最近は座位で過ごせるようになっています。排泄においては介助が必要との事なので、導尿などの医療ケアが必要になってくると思います。また、スロープ設置など、施設面におけるサポートも考えております。このようにケアが必要な子供に対して、教育委員会或いは市役所がどのような姿勢で臨んでいくのかという事を確認したくて、この協議を提出したと言う事です。
議長（市長）	これは考え方によるのですが、様々な小学校に支援が必要な子供がいるとなると、各小学校にサポートが出来る職員を配置しなければならなくなりますがそれはなかなか難しい事です。設備も充分に無い事なども念頭に置きつつ、支援が必要な子供が増えてきた場合にはどうする予定なのかも検討して頂きたい。

教育長	<p>「特別支援学校に通わせた方が安全なのではないか」との声を市民から頂く事が多く、我々としても設備や人事経費等が整っている学校に通って頂いた方が安心なのですが、保護者から「普通の学校に行かせたい」という希望があればそれを否定するべきでは無いという社会の考え方があるため、受け入れることとしております。</p> <p>しかし受け入れる学校を増やしてしまうと、特別支援学校と同じような考え方になてしまふのでは無いかという面が、我々がジレンマに陥ってしまうところであります。</p>
議長（市長）	<p>その希望を全て受け入れてしまうのは現実的に厳しいところなので、保護者の皆さんにもしっかりと理解して頂けるよう進めていかなければいけないですね。</p>
議長（市長）	臨時職員は今後どうするのですか。
教育部長	<p>新年度から会計年度任用職員制度が始まります。教育部だけでも193名任用していますが、なかなか確保できない状況です。教育委員会における臨時職員は、本務職員を補助する立場ではなく、現場で責任を持たなければならない業務を担っています。今後会計年度任用職員の制度が始まると、本務職員並みの待遇になると必要経費が膨らみ、人員削減となってしまう可能性があります。そうなった場合、学校現場が厳しい状況に陥ってしまうので、教育委員会における臨時職員の業務内容等を把握して頂いて、現場がスムーズに回る事を優先して制度の運用に当たって頂きたい。</p>
議長（市長）	予算の消化状況を見ながら進めています。
総務部長	<p>宮古島市教育情報推進計画について、少しよろしいでしょうか。</p> <p>小学校は令和2年度から、中学校は令和3年度から、ICTの活用を全面的に推進する新学習指導要綱が開始します。それにあたり、教育委員会としては小中それぞれのタイミングに合わせてタブレットを導入することを希望しておりますが、財政課としては同時に導入した方がコストの削減に繋がると考えております。財政状況やタイミングを見計しながら整備を進めていることを理解して頂きますようお願いします。</p>
教育長	タブレットに関しては、生徒一人一人が所持するわけではなく、3名に1台程度の割合で導入して使い回していく予定です。

総務部長	<p>ICT 環境整備に関してもそうですが、交付税措置がいくらされているのか見えないので、補助がどのくらい入ってくるのか見える形で予算調整をして頂きたい。こうした中で様々な活用の仕方を提案して頂いてアイディアを出し合う事が大事だと思いますし、そうすれば我々も前向きに考えていく事が出来ます。</p> <p>子供たちの教育格差という問題も世界共通の認識となっており、グローバル化に対応する教育が遅れるほど子供たちに影響が出るということも考慮していますので、有意義な予算の活用をして頂きたいと思います。</p>
野原委員	<p>話は飛びますが、市民プールの件についてよろしいでしょうか。</p> <p>1年間の教育課程において、プールの授業時間は規定されており、現在はほとんどの学校で1日1時間ずつ、2週間程度プールの時間をとっています。仮に学校のプールを無くしたとしても、市民プールで1日4時間プールの授業をしてもいいのです。送迎・指導は民間事業者へ委託してもいいのではないかと思います。</p>
教育長	<p>各学校の校長とプールの授業について話をしたところ、ほとんどの学校で、プールの指導は危険も伴うため十分に指導出来ていないとの声がありました。指導者をプロに任せる事で、生徒たちの意欲の向上も期待できるのではないかでしょうか。市民プールを利用して授業することができれば、学校ごとに授業の時期を割り振って、1年を通して宮古島市の子供たちが効率よく利用できます。</p> <p>ほとんどの校長が市民プール利用について賛成でしたが、学校にプールはあるべきという考えをお持ちの方もいました。</p>
総務部長	学校プールは現在どのくらいの経費がかかっていますか。
教育部長	水道代、光熱費等合わせて、年間4千万くらいです。
教育長	今後市民プールを創設することに対して、市長はどのようにお考えですか。
議長（市長）	各学校にあるプールをどうするのか、という課題が解決できれば、市民プールは作った方がいいと思います。
教育長	<p>分かりました。</p> <p>この件は教育委員会に持ち帰り再度話し合いを行いますが、もう今後各学校ではプール作らない方針で、市民プールに向けて動いていいでしょうか。</p>

議長（市長）	それは教育委員会で今後しっかり話し合い、方向性を固めてから再度調整をしましょう。
教育長	その方向性を決める上で、市長としては市民プールの構想はあるということでおよろしいですか。
議長（市長）	はい。 他に何か意見等ありますか。
副市長	医療ケアが必要な児童に看護師がつくとなると、1日中付き添う事になるのですか。
教育長	その児童の身体状態によるので一概には言えないのですが、医療行為を含むようになるとどうしても付き添ってもらわないといけない。
副市長	個別具体的な話になるので難しいところですが、そのあたりもどのように対応するのか検討して頂きたいです。
総務部長	医療ケアが必要な児童が今度入園予定の鏡原幼稚園に必要な設備や改修が必要な箇所などは、早めに調査してください。
教育部長	鏡原幼稚園については特に改修が必要な箇所は無いのですが、今後鏡原小学校に進むとなった場合には、今年度の内に調査して改修する必要があるので、今後検討していきます。
議長（市長）	お願いします。他になにかありますか。
中尾委員	統廃合後の学校施設の利用について、地域の住民の方々は学校を大切に思う気持ちや残してほしい気持ちがある中、知らないうちに事業が進んでいく不安感があるということを感じました。今後どう利用するのか検討していくかと思いますが、その際も住民の意見を聞いて頂き、意向に沿うようなかたちで進めて頂きたいと言うことをお伝えしておきます。
議長（市長）	分かりました。

議長(市長)	これで、令和元年度第1回総合教育会議を終了します。
--------	---------------------------

教 育 長

委 員

宮原 敏之

